



令和5年9月号

宗教法人 お告げのマリア修道会

聖マリア病院

●TEL:0959-72-5101

●FAX:0959-74-1771

●URL:<https://g-maria.jp/>

〒853-0052

長崎県五島市松山町 133-2



マリアの風 web

お祈りポスト

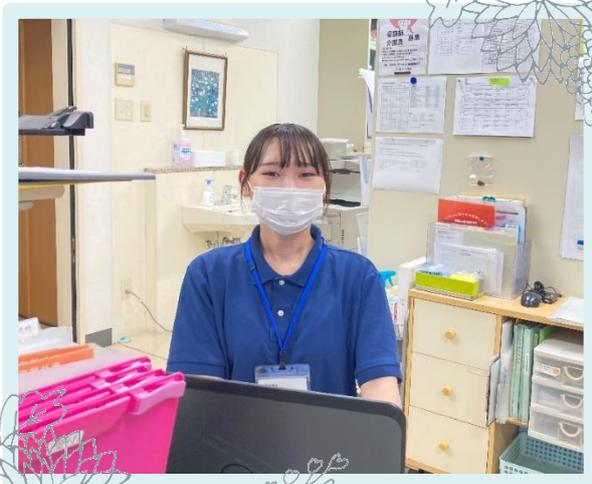
院長 山中 淳子

お告げのマリア修道会で「お祈りポスト」というものを教会に設置しています。教会を訪れた方はどなたでも、自分がお祈りしてほしいと思うことを書いて、お祈りポストに投函すると、その意向のためにシスター皆で祈るというものです。意向を書いた紙は修道院のチャペルに掲示します。子どもたちの微笑ましい願いごともありますが、深刻な状況の方の切実な願いもあります。意向を読むと、自分のためではなく、誰かのための祈ってほしいというのが多いことに気づきます。祈りが何になるのかと思う人もいるかもしれません。誰かのために何かをしたいと思っても、実際は何もできず、もどかしい思いで祈ることしかできない時があります。でも逆にそのような時、祈ることができるというのは救いです。自分のために祈ってくだ

さる人がいるのはとても心強いことです。あるいは自分の知らない所で、知らない誰かが自分のために祈ってくれているとしたら、どれほどの心の励みになるでしょうか。私自身もここに来るまでに多くの方の祈りに支えられてきました。若い頃、自分の奔放な願望を叶えたいと思っていた時、老シスター達が私のために、正しい道に進むように必死に祈ってくださっていました。若輩の私は「私のために祈らないで！」と思っていたのですが、恐らくその甲斐あって、道を逸れずにこれたと思うのです。今となっては本当にありがたく、もったいなく、感謝しきれないほどのものを感じています。祈りは無力ではない、そう実感します。誰かの心に私がいて、私のために祈ってくださっている。今度はそれを提供する側になれるように、私も必死に祈りたいと思います。

院内トピックス

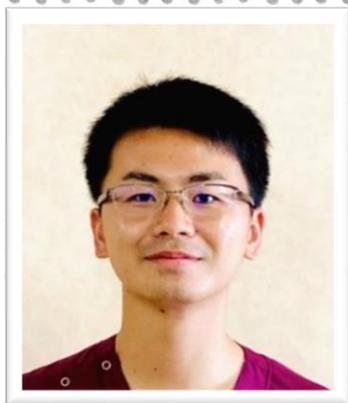
医療事務実習生



医療事務の学生さんが4週間の実習に来ています。主に受付業務に携わりますが、他職種と関わり、勉強する機会もあるそうです。さわやかな雰囲気でも周囲を明るくしてくれています。

研修医紹介

久留米聖マリア病院より研修医が来ていますのでご紹介します



藤堂 佑一先生
Todo Yuichi

①出身地：広島県

②趣味：テニス

興味のあること：おいしい食べ物

特技：ギター

③志望科：眼科

④研修期間：令和5年8月13日～10月7日

⑤聖マリア病院での抱負：久留米では体験できな

い地域ならではの医療を体験して、自分の診療能力を磨いていきたいです。

⑥患者さん、スタッフの皆さんへ：分からないことだらけで皆様に多くの迷惑をかけると思いますが、一生懸命頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



ある日のひとこま



グリーンの鉢にとまっている蝶。暑い真夏の昼に、1階のマリア像の横で見つけました。涼を求めて入ってきたのでしょうか。しばらく休んで、また戻っていきました。

ありがとうコーナー

2023 ワールドユースデイに医療スタッフとして同行した鼈甲屋シスターからの報告です



7月25日から8月10日まで、ワールドユースデイリスボン大会日本巡礼団に同行してきました。

日本各地、世界各地から集まった青年や同伴者たち、ホームステイ先だった修道院のシスターたち、それぞれのホストファミリーやたくさんのボランティアたちなど、いろんな方との出会いがありました。楽しいことも大変なこともたくさんありましたが、日々の出来事を通して、私の願いや望みではなく、「みこころが行われますように」と祈ることに立ち返る巡礼となりました。たくさんのお祈り、お励ましありがとうございました。

鼈甲屋 亮子



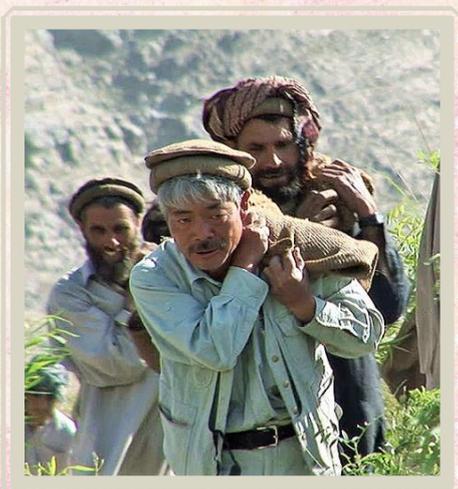
おしらせ・病院カレンダー

・9月20日(水) 15時~16時 BCP 防災訓練

聖マリア病院設立 75 周年事業について

現在地に聖マリア病院の前身である聖マリア診療所が開設されてから、今年で75年を迎えます。この度、75周年記念事業の一環として映画の上映会を企画しました。鑑賞ご希望の方は、聖マリア病院受付にて前売り券を販売しております。興味のある方はお声かけください。

75周年記念事業の一環として映画の上映会を企画しています。



『荒野に希望の灯をともし』

アフガニスタンで活動した
医師、中村哲さんの生の軌跡を
たどるドキュメンタリー映画

■日時：10月8日(日)

13時~15時

■場所：福江文化会館

■料金：大人 1,000 円 /中・高校生 500 円 /小学生以下 無料

編集後記

日中の日差しはまだ強いですが、朝晩は暑さが和らいできました。空を見上げると、積乱雲のなかにもすじ雲が混じるようになり、夏と秋の行きかう様を感じることができます。時間に追われ、必要な情報はネットニュースで得るこの頃、文章を書こうとすると、伝えたい情報を羅列しただけのニュースのような文面になり、久しぶりに本を開いて物語を読むことにしました。想像をかき立てる表現、言葉の奥行に潤いを感じました。時間がないと言いながら、いったい何に時間を割いているのだろうか。時間の使い方を再考することは人生の彩りにつながる気がしています。

(編集者)